

定住人口を増加させ、人口減少に歯止めをかけるために必要不可欠とみなされている。2012年、永松博文市長は、「10年後に人口3万人」を達成するという新たな目標を掲げ、豊後高田市の総合計画（2012）のなかで、目標達成のために取り組むべき重要な施策として、「住環境整備の推進」、「婚活事業の推進」、「健康なまちづくりの推進」、「都市的機能のさらなる充実」、「子育て支援のさらなる充実」を挙げている。

2.2. 市の子育て支援事業

2.2.1. これまでの展開³

豊後高田市の子育て支援事業は、現市長である永松博文市長が人口減少・少子高齢化による地域の活力低下を懸念したことから、当初、市の主導で整備されていった。特に、2003年7月「次世代育成支援対策推進法」の成立以降、市の子育て支援事業の整備は本格化する。同年10月には、市の子育て中の女性職員で子育て支援総合推進モデル事業プロジェクトチームが結成され、同プロジェクトチームによってニーズ調査が行われた。そして、住民に必要とされている子育て支援策の中身が整理され、そのニーズに対応するための事業が具体的に計画されていった。2004年4月には、県の協力を得て、国から「子育て支援総合推進モデル市町村」の指定を受け、親子が自由に集まって交流できる場を提供する「つどいの広場事業」（2007年からは「地域子育て支援拠点事業」）、地域住民が会員制で子育てを助け合うための「地域子育てサポート事業」、地域の子育て支援に関わる施策を総合的に把握して発信する「子育て支援総合コーディネート事業」、病気の回復期にある児童を預かる「病後児保育事業（派遣型）」を行うようになった。つどいの広場事業によってオープンした「花っこルーム」は、市内にある健康交流センター「花いろ」内に設置されたが、市町村合併後の翌2005年7月には、旧真玉地区、旧香々地地区においても、月1回のペースで「出張花っこルーム」をはじめた。

子育て支援事業の整備を円滑に進めるため、行政組織の再編も行われ、2004年4月には「子育て支援係」が新設された。合併後の翌2005年4月には、「子育て支援係」と「健康推進係」が1つになった「子育て・健康推進課」が設けられ、子育て支援事業と母子保健事業を同一の課で実施することとなった。

事業の運営主体も当初は主に行政だったが、事業が継続するなかで、新たな担い手が誕生する。2007年4月、当時市の直営だった「花っこルーム」の利用者10名弱が、自分たちも子育て支援に参加しよう、「花っこルーム」に恩返しをしたいという思いから、ボランティア団体「アンジュ・ママン」を立ち上げた。そして、立ち上がりとともに、「花っこルーム」の運営を市から受託した。以後、豊後高田市の主な子育て支援事業は、市と「アンジュ・ママン」の協働体制のもとで整備されていく。

³ この節の記述は、大分県豊後高田市子育て支援・健康推進課（2013）『豊後高田市 子育て支援事業について』によるものである。

2010年3月には、ボランティア団体だった「アンジュ・ママン」はNPO法人となり、同年4月には市から地域子育てサポート事業の運営を、6月には病後児保育事業の運営を受託した。2012年4月には、子育て支援総合コーディネート事業の一部（花っこルーム内で行っているサービスのみ）も受託している。「アンジュ・ママン」が運営主体となった後、「出張花っこルーム」の頻度は週1回に増やされ、病後児保育事業は派遣型から健康交流センター「花いろ」内の施設での預かり型に変更された。

2011年12月からは、やはり「アンジュ・ママン」が市から委託され、新しい事業「家庭支援スタッフ訪問事業」が実施されている。家庭支援スタッフ訪問事業は、拠点型支援を受けに外に出ることが出来ない等、社会から孤立し、子育ての悩みを相談できずにいる保護者に対して、家庭に出向いて無料で支援を行うアウトリーチ型の事業で、必要であれば専門的支援に繋げることができる仕組みになっている。

市は、2013年10月から、子育てに関する地域の情報をホームページで発信する子育て支援サイト「いいKAMO」を立ち上げ、「アンジュ・ママン」の活動の周知を行っている。同サイトでは、利用者同士が情報交換をできるSNSサイトもある。

各事業内容の詳細は表1にまとめてある通りである。

2.2.2. 新たな取り組み

上述のように、豊後高田市の主な子育て支援事業は、市とNPO法人「アンジュ・ママン」の協働体制で実施されてきたが、2011年10月から、新たな取り組みとして、内閣府の「新しい公共支援事業」の助成による「昭和の町で子育てひろば事業」が開始された。この事業の実施にあたっては、市と「アンジュ・ママン」だけでなく、商工会議所、商工会議所青年部、商店街連合会、観光まちづくり会社が連携するとされている。この6団体で協議会を形成しており、事業内容は、同協議会で提示されたものを実務者グループで検討後、再び協議会に図って承認を得る方法で決めていく。現在、「昭和の町で子育てひろば事業」では、中央公園や昭和の町商店街を利用する子ども連れの家族のために、隣接する勤労青年ホーム内に「おひさまひろば」を開設している。広場では授乳やおむつ替えができ、子育て情報誌の設置、子育て用品のレンタル、公園に来た親子への遊具の貸し出しなどを行っている。また、公園や商店街には父親も多く訪れることを利用して、男性の育児参画促進のための広報活動も行っている。

特に「アンジュ・ママン」が他の団体と連携して行っている事業として、例えば商業（商店街連合会）との連携では、「おひさまひろば」で商店街に来た親子にベビーカーの貸し出しを行い、利用者が「昭和の町」で買い物をした領収書を提示すれば、ベビーカーのレンタル料を返金するなどしている。また、粉ミルク用のお湯や授乳・おむつ替えスペース等の提供をするお店に「子育て応援店」の看板を設置し、子ども連れでも安心して商店街を利用できるようにしている。観光（観光まちづくり会社）との連携では、観光客にベビーカーの貸し出しや託児のサービスを行うことも企画しているという。さらに、広場の真横の

ハローワークとも連携し、「おひさまひろば」で求職情報を提供したり、子ども連れの求職者に対しては、ハローワークで相談する間、子どもを預かるなどの支援も行っている。ハローワークの横にはシルバー人材センターもあり、中央公園で世代間交流を図ることも考えられている。

この「昭和の町で子育てひろば事業」で形成されたネットワークは、やがて広がりを見せていく。同事業の協議会を構成する6団体に、市の幼稚園や保育協議会が加わり、子どもに特化したイベント「わくわくたかだこどもフェスタ」を開催、「アンジュ・ママン」の活動の周知を図るとともに、子育て中の親子の交流を促進している。

2.2.3. 成果

冒頭でも記したが、豊後高田市の子育て支援は、2011年に実施された「市民意向調査」で、一般市民によって、現状の満足度が高い5つの施策のうちの1つに選ばれている（大分県豊後高田市、2012）。また、各種の子育て支援事業にニーズがあり、例えば「花っころム」の2012年度の利用人数は、延べ12,065人（大人5,101人、子ども6,964人）、「おひさまひろば」の同年度の利用人数は、延べ2,532人にも及んでいる（豊後高田市子育て・健康推進課、2013）。

「昭和の町で子育てひろば事業」の成果としては、地域が「子育て」に積極的に取り組む体制ができ、地域全体で子育てしやすい環境を作ろうという意識が強まったことがある（内閣府、2013）。また、地域が「アンジュ・ママン」と繋がり、その活動内容を知ることによって、同NPO法人を支援するきっかけともなったという（内閣府、2013）。さらに、保護者の就労にも繋がるような支援（ハローワークで職探し中の託児）など、多角的な視点で子育て支援を考えて実施することが可能となった。

D. 考察およびE. 結論

1. 成功要因

豊後高田市の子育て支援事業が市民に高い評価を得、多くの親子がそのサービスを利用している要因として、市がNPO法人「アンジュ・ママン」と協働で事業を実施してきたことが挙げられる。特に、市と「アンジュ・ママン」は、前者が主として資金提供（委託料の支払い）を行い、後者が一定の裁量を持って委託されたサービス供給を行うというパートナー関係を築いてきた。行政よりもサービス利用者の立場に近く、利用者の子育てに関する悩みや疑問などを直接聞く機会が多い「アンジュ・ママン」が、一定の裁量を持つサービス供給者となることで、利用者のニーズに応えるようなきめ細かいサービスの提供が可能になったと考えられる。

市とNPO法人「アンジュ・ママン」のパートナー関係が成立してきた理由は、それぞれの主体がこの関係を維持するインセンティブを持つからである。一般的に、政府セクターとNPO法人のような非営利セクターがパートナーシップを持つことは、両者に利益があると考えられている（金谷、2007）。政府セクターにとっては、官僚性や非効率性を持つ危険

のある組織を肥大化させることなく、多様なニーズに対応するサービス提供が可能になる。一方、非営利セクターにとっては、政府から資金提供を受けることで活動を安定化することができる。このことは、豊後高田市と「アンジュ・ママン」にも当てはまると推察される。

さらに、豊後高田市では、市と「アンジュ・ママン」の間に信頼関係を醸成し、両者の相互作用を促進するような環境がある。その環境とは、市と「アンジュ・ママン」が同じ空間を共有していることである。具体的には、両者は同じ施設内（健康交流センター「花いろ」内）にあり、問題が生じた場合やこれから取りかかる案件がある場合に、すぐに報告・連絡・相談ができる体制にある。このような体制のもとで、市と「アンジュ・ママン」がパートナーとして協働してきたことによって、利用者にとって充実した内容の子育て支援事業が整備されたと考えられる。

また、豊後高田市は、「昭和の町で子育てひろば事業」によって、子育て支援事業の広範囲にわたる周知と、地域で子育てを応援しようという雰囲気づくりに成功している。成功の鍵となったのは、中央公園や昭和の町など、人が多く集まる既存の地域資源を利用したことと、「アンジュ・ママン」との連携体制に独自のネットワークを持つ地域の団体（商工会議所、商工会議所青年部、商店街連合会、観光まちづくり会社など）も参加する体制を築いたことであろう。これまで「アンジュ・ママン」とは協働する機会を持たなかった地縁団体が資源を結集した結果、子育て支援が広がりを持った。そして、協働のきっかけを与えたのは、国からの助成金制度だった。しかし、個々の団体がこの事業に参加するインセンティブを持った理由は、「自分たちが住む地域を活性化していこう。」「より住みやすい地域にしていこう。」という共通の想い、すなわちコミュニティ感情があったからだと推察される。そして、こうした感情は、永松博文市長による「10年後に人口を3万人にする。」というわかりやすい数値目標の提示によって、より一層強まったように思われる。さらに、参加6団体の長が集まって話し合う協議会は、参加団体間の信頼関係を醸成し、相互作用を促進する役割を担っている。

2. 課題

豊後高田市の子育て支援事業は、行政と民間の団体が協働してその実施にあたることで、成果をあげてきた。しかし、課題もある。

まず、サービスを担う人材の問題である。「アンジュ・ママン」のスタッフは、2013年1月時点で総勢23名、うち、利用者でスタッフを兼任するママさんスタッフが1名である。スタッフは「花っこルーム」、「出張花っこルーム」、「おひさまひろば」に配置され、遊びに来ている親子に目を配り、声を掛けるなどをするほか、地域子育てサポート事業のコーディネーターとして、病後児保育の保育者（看護師や保育士の資格を持つ方）として、家庭支援スタッフ訪問事業のボランティアとして働くメンバーもいる。そのため、各種の事業の運営のために必要な人材が十分であるとはいえない。人材育成の制度も整備されてお

らず、基本的にはママさんスタッフを経験して、「アンジュ・ママン」の活動内容に同意する者にスタッフになってもらうが、そのママさんスタッフの人数は1名に過ぎない。地域子育てサポート事業では、サービスを提供する側の「まかせて会員」は規定の養成講座の受講が求められるため、サービスの提供者の質を一定程度担保する仕組みは設けられている。しかし、「まかせて会員」の会員数は、サービスを利用する側の「よろしく会員」の数に比べて格段に少ない（まかせて会員が47名、よろしく会員が233名、両方を兼ねている会員が29名）。家庭支援スタッフ訪問事業についても同様に、40時間の研修（ホームスタート・ジャパンのプログラムに沿ったもの）によってボランティアの質は一定程度確保されているが、量が十分とはいえない。したがって、今後、子育て支援事業を担う人材を育成するための制度づくりが課題となる。

次に、財源の問題である。「アンジュ・ママン」の運営費の大部分は、市からの委託料で賄われている（2010年度の活動計算書によると、経常収益の合計額約1,470万円のうち、事業受託収益が約14,00万円を占める。）。スタッフは、今後NPO法人としてさらに充実した子育て支援サービスを提供するためには、自主財源を確保できるような仕組みづくりが必要であると考えている。加えて、冒頭で記述したように、委託料を支払っている市の財政基盤も決して強固なものではない。そのため、会費や寄付金、サービスの利用料など、複数の資金源から収入を得る工夫をすることで、安定的な運営を目指すことは重要である。また、「昭和の町で子育てひろば事業」は、今後、「おひさまひろば」の設置により商店街や中央公園の利用者が増加するなど、子育て支援の充実と地域活性化の相乗効果を生む可能性を秘めた事業だが、期間に定めのある国からの助成で実施しているため、継続するための資金を如何にして確保するかが課題となるであろう。

3. インプリケーション

当然のことながら、過疎地域といっても状況は千差万別である。そのため、豊後高田市の事例から一般化することは不可能である。しかし、行政と民間の団体が協働することで子育て支援事業を充実させていった豊後高田市の取り組みから、限られた地域資源を有効に活用するための仕組み作りについて学ぶことがあると思われる。仮に、過疎地域のほうが都市部よりも相対的に行政と地域住民間の距離が近く、協働を成立させるためのインセンティブの形成、信頼関係の醸成、相互作用の促進がより容易であるとするならば、地域資源の面で豊後高田市と類似する過疎地域にとっては、同市の取った戦略は参考となりうるのではないだろうか。

【引用文献】

大分県豊後高田市(2010) 『第2次豊後高田市行政改革大綱及び実施計画』.

大分県豊後高田市(2012) 『豊後高田市 総合計画改訂版』.

大分県豊後高田市子育て支援・健康推進課(2013)『豊後高田市 子育て支援事業について』

奥山千鶴子(2002) 『すべての子育て家庭の支援にむけて』.

金谷信子(2007) 『福祉のパブリック・プライベート・パートナーシップ』日本評論社.

厚生・文部・労働・建設大臣合意(1994) 『今後の子育て支援のための施策の基本的方向について (エンゼルプラン)』.

厚生省(1999) 『新エンゼルプランについて』.

厚生労働省(2004) 『平成 16 年度版厚生労働白書』.

厚生労働省(2005a) 『地域子育て支援拠点事業』.

厚生労働省(2005b) 『「少子化社会対策大綱に基づく重点施策の具体的実施計画について」(子ども・子育て応援プラン) の決定について』.

厚生労働省(2009) 『子どもと家族を応援する日本」重点戦略の決定等について』

国立社会保障・人口問題研究所(2013) 『日本の地域別将来推計人口(平成 25 年 3 月推計)』.

総務省(2005) 『平成 17 年度市町村別決算状況調』.

総務省(2010) 『平成 22 年度市町村別決算状況調』.

総務省(2011) 『国勢調査』.

内閣府(2013) 『新しい公共支援事業 新しい公共の場づくりのためのモデル事業取り組み事例集』.

山縣文治(2012) 「子ども・子育て新システムと地域子育て支援」Urban Vol. 24.

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的所有権の出願・登録状況

なし

表1:豊後高田市の主な子育て支援事業

事業名	目的	対象者	利用料金	場所	運営
地域子育て支援拠点事業 つどいの広場「花っこルーム」	子育て中の親子が自由に集い、交流できる場の提供。色々な世代の人立ちとの交流を通じ、子育ての不安感・負担感を緩和しながら、「親育ち・子育ち」の支援を目的とする。	おおむね就学前の子供とその家族	無料	健康交流センター「花いろ」内	NPO法人アンジュ・ママ
地域子育てサポート事業	保護者の急な残業や臨時的突発的な就労、急用等による保育所や幼稚園の送迎、病気(軽度)の子供の預かりなど、多様化する保育需要に対応するため、子育てサポートする「任せて会員」とサポートを受けたい「よろしく会員」からなる会員制の相互援助活動。	「よろしく会員」:豊後高田市に住民登録している、または豊後高田市で勤務している方 (概ね生後4ヶ月~小学校6年生の子供) 「まかせて会員」:豊後高田市に住民登録しており、規定の養成講座を受講した方	有料	原則として、まかせて会員の住居 ただし、子供が病気の場合など、事情がある時はよろしく会員の住居などで行うことができる。	NPO法人アンジュ・ママ
病後児保育事業	病気の回復期にある児童について、保護者の勤務の都合などやむを得ない事情により家庭で保育できない場合にそのじょうどうを一時的に預かることにより保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに安心して子育てができる環境を整備することを目的	概ね生後6か月~小学校3年生	有料	健康交流センター「花いろ」内	NPO法人アンジュ・ママ
家庭支援スタッフ訪問事業	花っこルームにも出てこれず、社会から孤立し、子育て不安を相談できないでいる親の為、家庭に向いて必要な子育てを行う。	6歳以下の未就学児の乳幼児のいる保護者	無料		NPO法人アンジュ・ママ
子育て支援総合コーディネイト事業	子育て支援総合コーディネーターを配置し、市内の多様な子育て支援サービス情報を一元的に利把握し、情報提供及び利用援助等の支援を行うことにより、利用者の利便性の向上、支援サービス利用の円滑化等を資することを目的とする。	—	—	—	業務の一部 NPO法人アンジュ・ママ
子育て支援サイト『いいKAMO』	子育てに関する行政の情報と地域などの民間情報を、皆さんにお知らせすることが目的のサイト。子育てに関連する情報を1つにまとめ、お知らせする。一方的に情報を発信するだけでなく、サイト利用者同士もつながることができるサイト。『ほしい・あげたい』コミュニティも作っている。	—	—	—	—

出所:大分県豊後高田市子育て支援・健康推進課(2013)『豊後高田市 子育て支援事業について』より筆者作成

厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）

「都市と地方における地域包括ケア提供体制の在り方に関する総合的研究」

平成 25 年度分担研究報告書

2008 年度在宅医療における月当たりの医療費及び介護費用の集計(4 月～6 月期)と考察

－2012 年度診療報酬及び介護報酬の点数改正とのおおよその比較－

研究協力者 川島孝一郎（仙台往診クリニック 院長）

概 要：

2 年ごとの診療報酬及び 3 年ごとの介護報酬改正が行われ、居宅における医療及び介護提供がなされている。

それぞれの居宅療養者は疾患・家族関係・収入・地域環境等も異なる。異なる生活を行っている療養者についての、個々の医療費及び介護費用について、用途の詳細な提示が行われたデータはない。そこで、2008 年 4 月から 6 月までの 3 ヶ月間に仙台往診クリニックが訪問した在宅療養者 272 名について、医療費及び介護費用(介護保険分)と、実際に利用された医療処置及び介護支援を分析した。その結果、

- 1) 常時吸引を必要とする要吸引者は 84 名 (30.9%)、癌 40 名 (14.7%)、人工呼吸器 27 名 (9.9%)、グループホーム入居者 59 名 (21.7%) であった。
- 2) 要介護度をみると、「要介護 5 (同程度の状態含む)」70 名 (25.7%)、「要介護 4 以下 (同程度の状態含む)」83 名 (30.5%) であった。
- 3) 2008 年 6 月の 1 人当たり平均医療費は、「要介護 5 (n=68)」9,848 点 (最大 33,308 点)、「要介護 4 以下 (n=80)」8,589 点 (最大 47,890 点)、「人工呼吸器装着患者 (n=27)」24,996 点 (最大 48,676 点)、「癌患者 (n=28)」26,542 点 (最大 47,890 点)、「グループホーム入居者 (n=59)」4,850 点 (最大 7,932 点) であった。
- 4) 2008 年 6 月の 1 人当たり平均介護費は、「要介護 5 の人工呼吸器装着患者 (n=17)」304,464 円 (最大 369,409 円)、「要介護 5 の人工呼吸器装着患者以外 (n=34)」253,545 円 (最大 384,380 円)、「要介護 4 (n=15)」197,105 円 (最大 311,318 円)、「要介護 3 (n=9)」161,057 円 (最大 271,521 円)、「要介護 2 (n=6)」119,105 円 (最大 180,939 円)、「要介護 1 (n=4)」64,185 円 (最大 136,717 円) であった。
- 5) 医療保険分について在宅医療と病院入院との比較を行えば、医療費は、がん末期については最も高い在宅がん医療総合診療料を適応しても、在宅はホスピスの約 1/2、人工呼吸器装着者は病院入院の約 1/3、常時臥床状態は病院入院の約 1/5 と推定された。

などがわかった。

本分析により、医療費と介護保険費の総和は、病院入院費より低い値を示した。総合支援法の適用者は限定されているため、費用の総和に影響する度合いは低いと考えられる。

しかし今後独居世帯・老老介護世帯の増加とともに、総合支援法の適用者が増加する可能性は大きく、総費用の増大が予想される。ただし、要介護 5 であっても満額を利用する療養者は少なく、現在のところは余裕があると見てよいだろう。

現在、入院・入院外の二区分である診療報酬内訳を、今後、入院料・外来診療料・訪問診療料の三分区分とする内訳に変更するほうが、これからの医療政策上、理にかなっていると思う次第である。

【はじめに】

2年ごとの診療報酬及び3年ごとの介護報酬改正が行われ、居宅における医療及び介護提供がなされている。

それぞれの居宅療養者は疾患・家族関係・収入・地域環境等も異なる。異なる生活を行っている療養者についての、個々の医療費及び介護費用について、用途の詳細な提示が行われたデータはない。

2008年度社会保障国民会議における、在宅医療の医療費及び介護費用の提示用に作成された資料の元データの公表を通じて、実際の各医療処置や介護支援の実際を知ることができる。

2008年は在宅療養支援診療所の制度が生まれた年度であるが、その後2回の医療費改訂を経た。したがって2013年の費用配分は2008年当時とは若干異なる。

本報告書は2008年と2012年の医療費及び介護費用の改定を列挙する。項目ごとの点数はやや増加しているが物価指数との比較が必要である。

本データを入院医療費、外来医療費、各施設介護等における介護費用等と比較することにより、更なる医療費及び介護費用の評価・適正化の参考資料となるものと考えられる。

【方法と対象】

2008年4月から6月までの3ヶ月間に仙台往診クリニックが訪問した在宅療養者272名について、医療費及び介護費用(介護保険分)と、実際に利用された医療処置及び介護支援を記載した。

主病名は全ての対象者において記載している。常時吸引を必要とする要吸引者は84名、癌40名、人工呼吸器27名、グループホーム入居者59名。

要介護度5及び同程度の状態が70名、要介護度4以下及び同程度の状態が83名。

医療費においては、性別・主病名・年齢・介護度・医療内容(吸引・呼吸器・酸素吸入・胃瘻・尿カテーテル・気管切開・中心静脈栄養)・老人医療・公費の有無・身障等級、及び4月～6月期の医療費総額を記載している。

介護費用については、性別・介護度・4月～6月期の介護費用(介護保険分)・短期入所生活介護・通所介護・通所リハ・訪問看護・訪問リハ・訪問介護・訪問入浴・福祉用具貸与(特殊寝台・特殊寝台付属品・床ずれ防止用具・体位変換器・車イス・車イス付属品・スロープ・移動用リフト・歩行補助つえ・歩行器・手すり)を記載した。

【結果】

1) 患者特性、医療処置内容及び医療費の状況(n=272)

図1に要介護度5及び相当患者、図2に要介護度4以下及び相当患者、図3に要吸引患者、図4に人工呼吸器装着患者、図5にがん患者、図6にグループホーム居住者の患者特性、医療処置内容、医療費を示す。

常時吸引を必要とする要吸引者は84名(30.9%)、癌40名(14.7%)、人工呼吸器27名(9.9%)、グループホーム入居者59名(21.7%)であった。

要介護度をみると、「要介護5(同程度の状態含む)」70名(25.7%)、「要介護4以下(同程度の状態含む)」83名(30.5%)であった。

2008年6月の1人当たり平均医療費は、「要介護5(n=68)」9,848点(最大33,308点)、「要介護4以下(n=80)」8,589点(最大47,890点)、「人工呼吸器装着患者(n=27)」24,996点(最大48,676点)、「癌患者(n=28)」26,542点(最大47,890点)、「グループホーム入居者(n=59)」4,850点(最大7,932点)であった。

図 1. 患者特性、処置内容、保険点数の状況(要介護5及び相当患者)

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧 パート1
(要介護度5及び要介護度5相当患者)2008年

性別	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃導	尿カテ	気切	CV	後期	公費	身障	4月点数	5月点数	6月点数	平均点数	
1	脳梗塞後遺症	99	5								○			2	5,860	5,055	5,860	5,592
2	パーキンソン病	81	5					○			○	特疾		1	7,946	6,745	6,674	7,122
3	アルツハイマー型認知症、脳梗塞、糖尿病	79	5	○		○	○	○			○			2	18,174	18,961	17,707	18,281
4	脳梗塞後遺症	70	5	○			○	○						1	7,462	7,432	7,339	7,411
5	アルツハイマー型認知症、糖尿病	66	5											2	1,141	8,493	6,302	5,314
6	左乳癌術後、認知症、慢性心不全、狭心症	93	5									生保老人			6,160	6,302	6,911	6,459
7	アルツハイマー型認知症、骨粗鬆症、虚血性心疾患	94	5				○				○				268	6,130	5,469	4,289
8	脳出血後遺症、右半身不全麻痺、脳出血性痴呆症	82	5	○				○			○			1	6,410	6,160	7,034	6,535
9	パーキンソン症候群	91	5	○		○	○	○	○			特疾		1	19,038	19,818	20,742	19,866
10	慢性心不全、廃用症候群、嚥下困難、CVポート埋込後	95	5	○				○		●	○				20,294			20,294
11	パーキンソン病、びまん性レビー小体病	84	5					○		●	○	特疾			7,998	8,607	7,998	8,201
12	脳血管性痴呆	84	5			○	○					生保老人			4,742	9,429	3,400	5,857
13	脳出血後遺症	59	5	○						○				1	10,734		11,108	10,921
14	脳梗塞	73	5	○					膀胱導		○			1	6,745	7,504	6,674	6,974
15	多発性脳梗塞	82	5				○				○				18,167	6,805	5,860	10,277
16	脳梗塞後遺症、慢性心不全	69	5					○							8,640	9,822	8,202	8,888
17	家族性有髄小脳変性症(遺伝型不明)	68	5	○			○	○	○			特疾		1	9,923	14,726	28,543	17,731
18	アルツハイマー型痴呆症	92	5								○				5,860	6,242	5,960	6,021
19	脳梗塞	73	5				○								10,514	8,039	8,039	8,864
20	総胆管結石症	91	5								○			1	15,781	6,002	6,761	9,515
21	多発性脳梗塞	90	5				○	○							6,521	6,308	6,892	6,574
22	多系統萎縮症、睡眠時無呼吸症候群、右脳室内腫瘍	65	5	○			○	○			○	特疾		2	12,416	8,325	8,116	9,619
23	ALS	73	5	○			○	○	○		○	特疾			12,771	13,036	12,162	12,656
24	脳梗塞後遺症(右片麻痺)	77	5	○			○	○	○					1	7,366	7,207	8,287	7,620
25	パーキンソン病	78	5	○			○	○	○			特疾		2	17,294	19,098	15,501	17,298
26	頸椎損傷、出血性脳梗塞	65	5											1	5,860	5,860	6,928	6,216
27	脳動脈硬化後遺症、IVH管理、胃導流設後	56	5				○		○					1	12,193	12,254	13,338	12,595
28	汎発性レビー小体病	87	5	○			○	○				特疾			8,871	13,112	6,330	9,438
29	右大腿骨頸部骨折後、脳血管性認知症、慢性腎不全	96	5	○							○				6,969	6,231	7,140	6,780
31	脳梗塞後遺症、嚥下障害、胃導流設後	77	5				○									1,529	5,860	3,695
32	慢性閉塞性肺疾患	89	5	○		○	○	○						1	18,580	14,448		16,514
33	脳幹梗塞	74	5	○		○	○	○	○					1	18,155	19,785	19,140	19,027
34	くも膜下出血後遺症	81	5	○			○	○						1	6,938	7,892	6,917	7,266
35	脳梗塞後遺症	99	5	○			○				○			1	7,561	12,228	6,819	8,689

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧 パート2
(要介護度5及び要介護度5相当患者)2008年

性別	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃導	尿カテ	気切	CV	後期	公費	身障	4月点数	5月点数	6月点数	平均点数	
36	脳出血	91	5	○		○	○	腎カテ	○		○			1	24,421	28,602	33,308	28,777
37	脳出血後遺症	59	5	○										1	7,355	7,228	7,176	7,253
38	認知症	92	5						○		○				9,311	8,632	5,180	7,708
39	脳梗塞後遺症、嚥下困難性脳動脈硬化症	95	5	○			○	○			○				8,129	5,887	8,068	7,365
40	慢性左辺骨折	85	5								○				8,428	4,381	6,574	6,681
41	腎臓小脳変性症	61	5	○		○	○	○	○			特疾			22,948	14,962	15,775	17,895
42	多系統萎縮症、左脳出血後遺症、気切、胃導	54	5			○	○	○	○			特疾		1	12,730	11,663	13,976	12,790
43	脳梗塞後遺症	85	5				○				○				7,714	6,160	6,160	6,778
44	パーキンソン病	69	5	○		○	○	○	○			特疾		1	20,859	16,003	20,345	19,069
45	脳梗塞後遺症	90	5								○				5,860	5,931	5,860	5,884
46	乳癌術後、子宮癌術後、うつ状態	82	5	○							○				7,891	8,750	7,820	8,154
47	気管支喘息、低酸素血症による遷延性意識障害	64	5	○										1	9,724	6,302	6,160	7,395
48	脳梗塞、糖尿病	83	5	○			NGT		○		○			1	8,399	9,977	9,148	8,938
49	脳梗塞後遺症	77	5								○				6,609	6,160	6,160	6,310
50	脳幹梗塞、四肢麻痺	74	5	○							○			1	6,769	6,160	6,160	6,363
51	副腎機能不全、貧血、認知症	83	5												6,005	3,400	1,241	3,549
52	アルツハイマー型認知症、臥床	93	5	○			○	○			○				24,446	5,714	7,014	13,289
53	脳出血後遺症	79	5				○				○				6,469	6,734	6,204	6,502
54	パーキンソン病	72	5	○			○	○	○			特疾		1	14,505	14,795	12,375	13,885
55	認知症、甲状腺機能低下症	95	5								○			1	16,163	12,212	7,662	12,012
56	くも膜下出血後遺症	69	5	○			○	○	○					1	8,716	11,408	12,851	10,992
57	脳梗塞、脳出血後遺症、アルツハイマー病	75	5	○		○	○	○	○					1	14,885	13,025	14,227	14,049
58	パーキンソン症候群、糖尿病、嚥下障害、胃導流設後	92	5				○	○			○				8,231	6,160	7,693	6,695
59	廃用症候群、胃導流設後、慢性腎不全、臥床	84	5								○				6,861	6,302	7,176	6,813
60	アルツハイマー型痴呆、脳梗塞後遺症	78	5	○							○				7,090	8,998	7,090	7,723
61	進行性筋ジストロフィー(デュシェンヌ型)	32					○							1	17,424	17,380	18,233	17,679
62	脳性痙攣、頚椎損傷	60		○					○					1	11,124	10,647	10,582	10,784
63	重症筋力低下後遺症、遷延性意識障害	30		○		○	○	○				労災		1	21,450	21,508	20,928	21,297
65	頚椎損傷	55		○				○	○					1	10,316	10,846	10,696	10,619
66	アルツハイマー病、慢性性痴呆	72		○		○	○	○	○					1	20,383	23,035	19,896	21,305
67	頚椎損傷	33					○							1	10,544	11,459	8,831	10,278
68	頚椎損傷	35						○				労災		1	6,745	6,745	6,745	6,745
69	出血性ショックによる無酸素血症	19		○				○						1	13,178	14,529	12,913	13,540
70	クモ膜下出血後遺症	29		○		○	NGT		○					1	18,415	22,608	18,322	19,782
														721,905	708,767	669,662	723,951	総点数
														10,616	10,243	9,848	10,334	平均点数

図 2. 患者特性、処置内容、保険点数の状況(要介護 4 以下及び相当患者)

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧 パート1
(要介護度4以下及び相当患者) 2008年

性別	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃導	尿カテ	気切	CV	後期	公費	身障	4月点数	5月点数	6月点数	平均点数	
1	女	脳梗塞、気管支喘息、高血圧症	97	4				○						13,043	12,858	13,488	13,113	
2	女	アルツハイマー老年認知症	76	4										5,931	7,570	5,880	6,454	
3	男	前立腺肥大症	103	4										19,805	5,931	9,962	11,939	
4	女	不整脈、骨髄転移、狭心症、本態性高血圧、浸淫症、腫瘍性過剰	95	4										5,231	5,860	6,469	6,037	
5	女	左下腿骨折後遺症、高血圧症	91	4										5,860	6,729	5,860	6,150	
6	男	心筋梗塞、閉塞型睡眠時無呼吸症候群	78	4			○							14,969	8,531		11,750	
7	女	脳出血後遺症	88	4									1	5,931	7,119	6,002	6,351	
8	男	慢性呼吸不全、肺炎、閉塞性肺病、大動脈瘤	84	4			○						1	22,230	21,621	24,002	22,648	
9	男	脳幹出血、多発脳梗塞	95	4										5,860	6,469	5,931	6,087	
10	男	脳出血後遺症	89	4										6,160	6,160	6,160	6,160	
11	女	慢性腎不全	71	4								生後		6,002	5,931	7,762	6,595	
12	女	老人性認知症	93	4								その他中国籍留邦人		5,931	5,931	6,761	6,208	
13	女	痴呆症・中核性脳炎	95	4	○			○						10,404	16,416		13,410	
14	男	脳卒中後遺症、狭心症、高血圧症、不眠症	93	4										7,261	7,261	5,860	6,314	
15	男	慢性腎不全、脳出血後遺症	79	4										9,127	10,086	11,883	10,355	
16	女	糖尿病、アルツハイマー型認知症	87	4										6,160	6,160	6,160	6,160	
17	女	老年痴呆症、糖尿病	103	4	○									9,411	5,908	5,860	7,060	
18	女	薄旧性心筋梗塞、気管支喘息、高血圧症、高脂血症	94	4										6,144	7,370	7,011	6,842	
19	女	うつ病、血管性認知症、腰痛症	76	4										6,961	5,426	6,160	6,182	
20	女	レヴィ小体病	88	4			○	○						10,315	7,261	7,989	8,590	
21	女	肥大型心筋症、食道逆流、高血圧症	94	4										7,460	5,931	6,202	6,564	
22	女	慢性閉塞性肺病(右下腿カウチン)	66	4									2	14,022	11,283	9,357	11,411	
23	男	閉塞性肺病(前立腺肥大症、前立腺癌)	73	4								腎カテ		7,132	6,569	6,294	6,665	
24	男	腎臓病、前立腺癌、認知症	87	4				○						46,180	49,005	47,890	47,692	
25	女	慢性心不全、慢性腎不全、糖尿病	88	3										24,353	18,341	16,802	19,832	
26	男	パーキンソン病、脳梗塞後遺症	52	3										6,002	6,611	6,790	6,468	
27	女	脳梗塞後遺症	84	3				○					1			8,347	8,347	
28	女	脳梗塞	73	3									1	7,186	6,311	6,595	6,697	
29	女	慢性心不全、心房中隔欠損症、発作性心室細動、肺結核後遺症	83	3			○									9,107	9,107	
30	女	慢性閉塞性肺病	86	3									1	6,908	6,024	6,024	6,319	
31	女	高血圧症	90	3										4,742	5,000	5,071	4,938	
32	女	高血圧症、多発性脳梗塞、認知症	95	3												2,548	2,548	
33	女	短腸症候群	66	3														
34	男	慢性腎不全、高血圧、認知症	82	3									2	8,950	8,120	6,689	8,586	
35	男	脳梗塞後遺症、睡眠時無呼吸症候群、虚血性心疾患	84	3			△	○						3,613	3,471	3,400	3,242	
36	男	発作性上室性頻拍、認知症	86	3										4,600	4,600	5,209	4,803	
37	男	認知症、脳梗塞後遺症、心房細動	86	3										6,223	4,446	5,860	5,543	
38	女	関節リウマチ、過敏性腸症候群	56	3									1	5,860	7,799	7,132	6,930	
39	男	特異性顆粒性肺炎(特異性肺腫瘍)	97	3	○									17,139	15,600	16,739	16,493	
40	女	左下葉肺炎	82	3												13,642	7,599	10,621
41	女	心不全、心房細動、心臓性浮腫、高度難聴	90	3										10,352	6,905	6,160	7,606	

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧 パート2
(要介護度4以下及び相当患者) 2008年

性別	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃導	尿カテ	気切	CV	後期	公費	身障	4月点数	5月点数	6月点数	平均点数			
42	女	左室神経経路	43	3							●		2	11,681	12,011	9,867	11,186			
43	女	認知症、左腎高尿酸血症、左腎結石、左腎腎症	84	3							○			139	930	6,283	2,451			
44	女	腎臓病	78	3									1	6,160	6,260	6,769	6,396			
45	女	脳出血後遺症	70	3									2	6,481	6,590	6,519	6,590			
46	女	慢性閉塞性肺病(気管支喘息、肺炎)	92	3										13,540	13,682	13,540	13,587			
47	女	胸椎圧迫骨折後、認知症	93	2										4,446	6,469	4,446	5,120			
48	男	高眼圧症	80	2									1	5,860	6,794	5,860	6,171			
49	女	CI-子宮癌	82	2										9,090	8,219	11,500	9,593			
50	女	下腿浮腫、関節リウマチ疑い、慢性腎炎、感染要型	95	2												7,719	5,860	6,790		
51	女	認知症	88	2												6,252	6,252	6,719	6,408	
52	女	パーキンソン症候群・線条体黒質リウマチ様病変	82	2												12,731	14,150	12,660	13,180	
53	男	リウマチ・脳梗塞	76	2	○								1	3,253	6,985	6,637	7,652			
54	女	認知症、変形性関節症	94	2										4,517	5,860	4,446	4,941			
55	女	骨髄転移、慢性閉塞性肺病、心室性期外収縮	82	2										7,143	6,474	9,474	6,697			
56	女	脳梗塞後遺症、認知症、高血圧症、糖尿病、慢性腎不全	94	2										1,879	6,990	7,760	5,543			
57	女	脳梗塞後遺症、骨髄転移	84	2										5,931	5,931	6,641	6,168			
58	男	脳梗塞後遺症、糖尿病	80	2										5,860	6,469	5,860	6,063			
59	男	慢性閉塞性肺病、糖尿病	81	2				○						15,382	14,700	13,597	14,560			
60	女	老人性アルツハイマー型認知症、揮う神経症	79	1										6,704	6,024	6,024	6,251			
61	女	骨髄転移、高血圧、狭心症	76	1										42,907	39,940	47,510	43,152			
62	女	高血圧症、狭心症	84	1										5,860	6,711	6,690	6,420			
63	女	多発性ラクナ梗塞	90	1										6,031	5,931	10,135	7,366			
64	女	認知症、骨髄転移	90	1										5,860	5,860	5,860	5,860			
65	女	浮腫	80	1										5,931	5,860	6,120	5,970			
66	女	糖尿病、閉塞性腎臓病(PTCD留置)、C型肝臓	80	1												2,983	10,763	6,863		
67	男	中心性睡眠呼吸障害	37													5,860	5,860	5,860	5,860	
68	女	多発性肺炎	57													6,160	7,259	6,160	6,526	
69	女	肝臓病、糖尿病、うつ病、狭心症、肥満	78													8,290	14,090	7,591	9,990	
70	女	肺高血圧症の薬用症候群、神経因性脱力(尿カテ留置)、腎臓病	86					○								1,170	7,650	7,335	5,385	
71	女	多発性肺炎	63													6,769	6,231	6,769	6,590	
72	男	狭心症、心臓肥大、腎臓性小児麻痺、腎臓	62													1,615	6,252	6,273	7,070	
73	男	脳出血後遺症(右片麻痺-失語症)、慢性性嚔癆、認知症	70													8,010	157		2,722	
74	女	脳出血後遺症、慢性性嚔癆、狭心症、胆石症	64													8,182	6,231	6,160	6,858	
75	女	薄旧性肺腫瘍	86																	
76	女	サルコイドーシス	79											4	13,240	14,621	17,754	15,005		
77	男	脳腫瘍	39		○											829	829		829	
78	男	多発性硬化症	16		○			○								6,540	6,002	6,002	6,181	
79	男	ウエルドニヒ-ホフマン病	46													7,820	8,694	8,070	8,195	
80	女	くも膜下出血後	75													6,160	6,160	6,469	6,263	
81	女	右乳癌摘出術後	87													1	6,157	5,860	5,860	5,959
82	男	肥大型心筋症、糖尿病、閉塞性動脈硬化症	81													6,519	7,143	5,860	6,507	
83	男	パーキンソン病	85													6,120	6,670	5,134	5,643	
																6,096	5,931	4,446	5,491	
														660,412	679,194	690,596	712,922	総点数		
														8,690	8,490	8,632	8,589	平均点数		

図 3. 患者特性、処置内容、保険点数の状況(医療保険分、要吸引者のみ)

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧 パート1
(要吸引者のみ)

	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃瘻	尿カテ	気切	IVH	老医	公費	身障	4月	5月	6月	平均点数
1	女	ALS	40	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1		入院中	7月退院	
2	男	ALS	64	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	27,696	24,564	27,176	26,479
3	男	ALS	56	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	26,102	23,713	23,864	24,560
4	女	ALS	71	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	22,976	23,584	23,806	23,455
5	男	ALS	55	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	27,058	27,058	31,945	28,687
6	男	ALS	63	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	28,363	26,472	33,567	29,467
7	女	ALS	39	5	○	○	○	○	○	○		生保		29,918	31,368	25,008	28,765
8	男	ALS	57	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	27,274	25,987	31,181	28,147
9	男	ALS	45	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	27,149	28,842	27,310	27,767
10	男	ALS	57	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	17,640	19,176	21,277	19,364
11	男	脊髄小脳変性症	12		○	○	○	NGT				特疾	1	29,261	27,808	30,949	29,339
12	男	ALS	60	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	26,138	29,334	27,043	27,505
13	男	ALS	52	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	28,592	24,319	20,346	24,419
14	男	筋ジストロフィー	31		○	○	○	NGT					1	24,848	30,331	33,362	29,514
15	女	慢性呼吸不全	70	5	○	○	○		○	○			1		31,008	21,111	26,059
16	男	ALS	54	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	26,146	26,311	25,258	25,905
17	女	ALS	69	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	25,617	24,669	23,322	24,536
18	男	脊髄小脳変性症	71	5	○	○	○	○	○	○	腎カテ	特疾	1	23,518	23,912	27,527	24,986
19	男	慢性呼吸不全	83	4	○	ONP	○							21,068	18,660	17,830	19,186
20	男	慢性呼吸不全	91	5	○	○	○	○	○	○		戦傷	1	22,726	22,726	22,726	22,726
21	女	脳梗塞後遺症	92	5	○	○	○	○	○	○				28,648	30,556	26,808	28,671
22	男	ALS	72	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	21,824	22,316	22,654	22,265
23	男	慢性呼吸不全	78	4	○	ONP	○							入院	18,740	21,375	20,057
24	男	シャイドレガー症候群	66	5	○	○		○	○	○		特疾	1	19,474	20,180	18,915	19,523
25	女	筋緊張性ジストロフィー	61		○	○							1	21,234	22,701	20,927	21,621
26	男	ALS	53	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	20,881	21,642	29,255	23,926
27	男	脳梗塞後遺症	55	5	○	○							1	21,464	22,234	21,378	21,692
28	男	ALS	79	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	16,414	14,288	16,296	15,666
29	男	ALS	67	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	17,617	17,206	16,146	16,990
30	男	脊髄小脳変性症	69	5	○			○	○	○		特疾	2	26,483	30,706	25,896	27,695
31	男	脳挫傷	55		○		○	○	○	○				24,203	21,173	15,689	20,355
32	男	シャイドレガー症候群	67	5	○	○	○	○	○	○		特疾	2	20,585	27,066	30,157	25,936
33	女	ウエスト症候群	25		○	○	NGT		○				1	21,745	20,418	20,648	20,937
34	女	筋緊張性ジストロフィー	70	4	○								1	11,216	11,070	11,070	11,119
35	男	脳腫瘍	62		○										25,737	46,405	36,071
36	女	多発性硬化症	69	5	○	○			○			特疾		10,630	22,819	22,710	18,720
37	男	脊髄小脳変性症	82	5	○		○	○	○	○		特疾	2	15,675	9,487	12,764	12,642
38	女	アルツハイマー病	68	5	○			○	○	○			1	17,714	18,238	16,874	17,609
39	男	脊髄小脳変性症	64	5	○	○	○	○	○	○		特疾	1	27,676	15,865	22,564	22,035
40	女	脳梗塞後遺症	70	5	○	○	○	○	○	○			1	16,384	18,936	18,816	18,045
41	女	脳出血後遺症	93	4	○	○	○						1	18,052	11,900	12,730	14,227
42	男	慢性呼吸不全	73	3	○	○							1	11,370	11,443	11,443	11,419

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧 パート2
(要吸引者のみ)

	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃瘻	尿カテ	気切	IVH	老医	公費	身障	4月	5月	6月	平均点数
43	女	脳梗塞後遺症	94	5	○	○	○						1	12,502	11,842	11,442	11,929
44	男	脳出血後遺症	87	5	○	○	○	○					1	29,944	30,518	30,223	30,228
45	男	脳梗塞後遺症	83	5	○	○	○						1	19,487	13,186	27,988	20,220
46	女	痴呆症	89	5	○	○							1	11,318	12,221	12,075	11,871
47	男	慢性呼吸不全	72	3	○	○							3		11,555	11,555	11,555
48	女	慢性呼吸不全	60	2	○	○							3	11,443	11,370	11,370	11,394
49	男	心不全	83	5	○	○									11,589	11,443	11,516
50	男	全身性血管炎	72	5	○	○						特疾		13,860	14,193	13,348	13,800
51	男	脳梗塞後遺症	84	5	○	○	○							12,503	17,085	11,370	13,653
52	女	心不全	82	3	○	○								11,216	11,143	12,730	11,696
53	男	痴呆症	84	5	○	○	○	○						16,726	9,424	9,085	11,745
54	男	脳出血後遺症	64		○	○	○	○	○	○			1	22,882	24,898	22,673	23,484
55	女	頸髄損傷	51		○			○	○	○			1	10,452	10,885	11,781	11,039
56	女	痴呆症	89	5	○	○		○	○	○			1	18,349	17,143	12,145	15,879
57	男	悪性関節リウマチ	71	5	○	○			○	○		特疾	2	14,598	10,601	10,764	11,988
58	男	脳梗塞後遺症	86	5	○	○			○	○			1	21,975	11,109	23,574	18,866
59	男	脳腫瘍	83		○			○						8,333	11,686	15,191	11,737
60	男	脊髄小脳変性症	57		○		○					特疾		7,654	13,861	19,959	13,825
61	男	咽頭癌	70	3	○		NGT		○				3	17,082	11,613	17,957	15,551
62	女	パーキンソン病	65	5	○	○		○	○	○		特疾		13,857		20,595	17,266
63	男	脳梗塞後遺症	75	5	○	○		○	○	○			1	10,620	9,591	10,398	10,203
64	女	脳出血後遺症	77	5	○		NGT						1	5,992	5,992	5,992	5,992
65	女	多系統萎縮症	64	5	○	○						特疾	1	9,201	9,293	8,431	8,975
66	女	脳梗塞後遺症	70	5	○	○	○	○	○	○			1	11,201	10,538	11,598	11,112
67	女	右大腿骨頭部骨折	84	5	○	○							1	8,460	5,870	5,943	6,758
68	女	脳腫瘍	60		○		NGT						2	14,232	12,991	11,041	12,755
69	女	麻痺性イレウス	39		○					○				27,103	25,542	25,655	26,100
70	男	パーキンソン病	83	5	○		○	○				特疾		10,415	12,064	7,608	10,029
71	女	脳梗塞後遺症	92	5	○	○	○						1	11,893	6,676	14,514	11,028
72	女	パーキンソン病	69	5	○	○		○	○	○		特疾	1	10,788	12,259	11,848	11,632
73	女	脳梗塞後遺症	79	5	○	○				○				13,621	16,440	14,491	14,851
74	女	パーキンソン病	89	5	○		NGT			○		特疾	1	6,043	1,878	7,603	5,175
75	男	脳腫瘍	65	5	○	○		○					1	9,105	8,917	10,443	9,488
76	男	脳腫瘍	62	5	○		NGT						1	10,739	9,838	9,648	10,075
77	男	パーキンソン病	68	5	○	○						特疾				10,443	10,443
78	女	痴呆症	84	5	○	○							1	5,570	5,570	5,570	5,570
79	男	脳挫傷	72	5	○	○		○					1	8,912	6,362	7,334	7,536
80	男	前立腺癌	86	3	○	○								44,850	46,345	44,850	45,348
81	女	痴呆症	91	5	○	○		○						8,427	16,566	11,706	12,233
82	女	脳出血後遺症	66	4	○	○							2	5,570	5,643	5,570	5,594
83	女	脳梗塞後遺症	76	5	○	○							1	5,570	5,570	5,570	5,570
84	男	脳挫傷	30		○								1	7,579	8,040	6,969	7,529

*は要介護5超級該当と考える 最重症

※ 医療費助成申請書提出者

図 4. 患者特性、処置内容、保険点数の状況(人工呼吸器装着患者)

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧
(人工呼吸器装着者2008)

性別	ALS	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃管	尿カテ	気切	CV	後期	公費	身障	4月点数	5月点数	6月点数	平均点数	
1	男	ALS	73	5	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	25,666	23,337	23,740	23,581	
2	男	頸髄損傷	75	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23,618	25,312	25,480	24,703	
3	男	ALS	68	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25,749	25,416	26,234	25,800	
4	男	ALS	60	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24,376	24,253	24,985	24,738	
5	男	胃腸癌性腸炎様化療	73	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25,404	25,186	23,060	24,517	
6	男	進行性筋ジストロフィー	26	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25,094	27,972	25,366	26,477	
7	女	ALS	75	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	28,325	24,379	24,808	26,004	
8	男	ALS	59	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25,008	25,024	25,811	25,282	
9	女	筋萎縮性ジストロフィー	65	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21,909	21,022	21,523	21,176	
10	男	ALS	67	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24,223	28,655	25,873	26,462	
11	男	頸髄損傷、四肢麻痺	27	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22,030	23,868	24,101	22,666	
12	男	多系統萎縮症、パーキンソン病疑病	32	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19,556	19,476	20,076	19,739	
13	男	ALS	47	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	28,590	25,022	27,014	27,012	
14	男	ALS	49	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25,365	26,025	30,029	27,456	
15	男	ALS	61	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18,284	19,435	17,424	18,374	
16	女	脳出血、自覚性てんかん	67	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15,535	16,801	17,968	16,435	
17	女	ALS、呼吸器炎	61	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20,244	19,073	21,053	20,384	
18	男	ALS、胃潰瘍	61	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17,656	16,627	22,380	18,888	
19	男	慢性呼吸不全、COPD	68	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	30,121	24,900	24,521	26,540	
20	男	ALS	65	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20,510	23,554	22,339	21,299	
21	男	ALS	57	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21,976	21,454	19,550	21,027	
22	男	ALS	64	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26,937	26,599	25,573	26,036	
23	男	頸髄損傷	24	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21,962	22,714	20,825	22,167	
24	男	ALS	59	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	35,905	34,721	48,976	39,768	
25	男	進行性筋ジストロフィー	35	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24,082	23,516	24,082	23,553	
26	女	脊髄損傷後	74	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26,353	25,002	25,675	25,677	
27	男	ALS	58	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27,492	33,066	30,007	30,188	
															653,202	626,096	674,829	654,656	総点数
															24,193	24,667	24,996	24,618	平均点数

図 5. 患者特性、処置内容、保険点数の状況(がん患者)

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧
(がん患者2008)

性別	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃管	尿カテ	気切	CV	後期	公費	身障	4月点数	5月点数	6月点数	平均点数		
1	男	悪性神経芽腫	13		○		○	NGT						51,751			51,751		
2	男	胃癌、前立腺癌	87	4					○		○				49,005	47,890	48,448		
3	男	肺癌、リンパ節、脳、胸椎転移、両下肢麻痺	66	4			○		○				1	47,510	49,005	47,890	48,135		
4	男	胃癌術後、前立腺癌、認知症	87	4					○		○			46,180	49,005	47,890	47,692		
5	女	多発性骨腫瘍	83	4							○			46,180	49,005	46,180	47,122		
6	男	胸腺カルチノイド	77	5					○				1	44,850	46,345	46,180	45,792		
7	女	小脳腫瘍	76	1							○		2	42,007	39,940	47,510	43,152		
8	女	右肺癌、多発性肝腫瘍、骨転移、転移性肺腫瘍	48	5			○		○					58,026	27,893	42,960			
9	男	胃癌	81	2			○			●	○			46,940	32,260	39,600			
10	女	潰瘍癌再発、肝・肺・骨盤内転移	88	2			○	○						38,944		38,944			
11	女	多発性転移性肺癌、乳癌胸壁浸潤の疑い、両側胸水貯留	72	3			○	○						18,563	46,345	46,580	37,156		
12	男	胃癌	88	5	○					○				13,834	47,876	46,580	36,023		
13	男	大腸癌術後再発、癌性髄膜炎	69	要支援			○				○			44,850	25,723		35,287		
14	女	乳癌、多発骨転移、肺・肝転移	56	3										9,824	46,345	44,850	33,673		
15	男	前立腺癌、右尿管癌、癌性髄膜炎	70	5			○		○		●					31,415	31,415		
16	男	下咽頭癌、食道癌、肝細胞癌	65	2			○			○				30,481			30,481		
17	女	脳腫瘍、心不全、老年性痴呆	92	3			○				○				13,181	44,650	29,016		
18	男	脳腫瘍	6		○			NGT						42,621	14,266		28,444		
19	女	大腸癌骨転移、肝転移、胃癌術後リンパ節転移	76				○		○		●	○		15,536	39,253		27,397		
20	女	胃癌	91	5			○							38,870		13,455	26,163		
21	男	肺癌、胃癌術後	84	5	○		○				○				22,908		22,908		
22	男	下咽頭癌	74	4			○		○		○			9,823	34,465		22,146		
23	女	大腸癌術後、ランバート・イートン筋無力症候群	76	5	○	○		○	○		○		1	22,388	20,988	21,133	21,503		
24	女	右上顎肉腫、横行結腸癌術後	92	4	○		○								19,348		19,348		
25	女	右頬がん術後再発、頸部リンパ節転移	83								○			18,119			18,119		
26	男	膵臓癌	70	3			○							11,118	9,691	31,415	17,408		
27	男	急性骨髄性白血病	40				○								16,878		16,878		
28	女	胃癌術後、癌性髄膜炎	71	5							●			15,897	13,887	14,296	14,693		
29	男	肺癌、骨転移、縦隔リンパ節転移	84				○				○				13,874		13,874		
30	男	小腸悪性リンパ腫術後、横行結腸悪性リンパ腫術後	79	3												12,319	12,319		
31	女	大腸癌術後パーキンソン病	73	5	○			○	○		○		1	15,047	10,929	10,485	12,154		
32	男	前立腺癌、骨転移、パーキンソン病、胃腸造設術後	82	5	○			○			○			9,174	17,711	9,006	11,964		
33	女	膵臓癌	55	2										12,165	11,819	11,890	11,958		
34	男	後腹膜腫瘍(脂肪肉腫)	57	2							腎カテ		4	9,567	10,731	8,663	9,654		
35	女	子宮頸癌治療後、放射性仙骨部壊死による瘻孔	71	4							●	○	1	10,641	7,921	9,132	9,231		
36	女	急性リンパ腫、脳腫瘍後遺症、胃腸造設後	95	5	○			○			○				8,719	7,820	8,270		
37	男	左腎癌摘出後、心筋梗塞、肺癌、前立腺癌、心不全疑い	87	1										8,759	5,931	7,400	7,363		
38	女	乳癌、リンパ節転移術後ケッテルマン症候群	46											258	397	20,225	6,960		
39	女	膵臓癌	80	1											2,963	10,763	8,663		
40	女	右視神経鞘腫瘍	36										1	6,749	7,069	6,609	6,809		
															728,645	818,709	743,187	1,039,069	総点数
															25,126	25,585	26,542	25,977	平均点数
															n	29	32	28	40
															563,405	625,587	507,708	1,696,700	計
															37,560	41,708	42,309	40,398	平均点数
															n	15	15	12	

図 6. 患者特性、処置内容、保険点数の状況(グループホーム居住者)

仙台往診クリニック管理患者要処置内容と医療保険請求点数一覧
(グループホーム居住患者2008)

性別	主病名	年齢	介護度	吸引	呼吸器	酸素	胃管	尿管	気切	夜尿	公費	身障	4月点数	5月点数	6月点数	平均点数		
71A	男	精神障害、癲癇	35										4,239	3,400	3,400	3,413		※特別障害者グループホーム
71B	男	精神障害、癲癇	35										5,259	3,400	3,400	3,420		
71B	女	パニック障害	37	要支援2									3,400	3,471	3,400	3,424		※通付介護
41B	女	アルツハイマー病	75	3									3,471	3,471	3,471	3,471		
31C	女	脳血管性痴呆	84	3									4,742	3,429	3,400	3,490		※認知症対応型生活介護
81D	女	アルツハイマー病認知症、脳神経性痴呆、脳血管性痴呆	86	3									7,281	4,211	4,149	4,959		
71D	女	脳神経性痴呆、アルツハイマー病、慢性腎不全	68	2									4,871	5,209	4,800	4,827		
81D	女	老人性認知症、高血圧症	87	3									5,310	5,280	5,151	5,237		
91D	男	高血圧症	90	3									4,742	5,000	3,071	4,938		
101D	男	認知症、躁鬱症を伴うアルツハイマー病認知症	82	2									5,271	5,251	4,811	4,959		
111E	男	脳神経、高血圧症、高血圧	79	1									4,742	4,742	5,280	4,921		※認知症対応型生活介護
121E	男	遺精性大腸炎、高血圧症	65	2									4,600	4,600	4,600	4,600		
131E	女	認知症、慢性腎不全	78	3									4,992	4,800	4,600	4,731		
141E	女	脳神経性痴呆、認知症	81	4									4,500	4,500	4,776	4,559		
151E	女	脳神経、高血圧症、認知症	93	3									4,600	4,800	5,209	4,803		
161E	女	高血圧症、認知症、胸科因性肺炎、骨粗鬆症	95	1									4,600	4,600	4,600	4,600		
171E	女	糖尿病、脳神経性痴呆	90	4									4,971	4,600	4,900	4,824		
181E	女	高血圧症、骨粗鬆症	93	3									5,389	5,250	4,600	5,059		
191E	女	多発性脳神経、うつ病	74	4									4,600	4,600	4,600	4,600		
201E	男	慢性腎不全	59	1									4,600	4,600	3,338	3,173		
211E	男	脳神経性痴呆、高血圧症、前立腺肥大症	89	4									4,600	4,600	4,600	4,732		
221E	男	老年期認知症、アルコール依存症、高血圧症	84	1									5,200	4,800	4,671	5,224		※認知症対応型生活介護
231E	女	アルツハイマー病認知症、うつ病、慢性腎不全	84	3									4,742	5,280	6,738	5,554		
241E	女	アルツハイマー病、慢性腎不全	84	3									4,600	4,600	7,832	5,711		
251E	女	アルツハイマー病認知症	84	4									4,600	4,600	5,209	4,803		
261E	男	慢性腎不全併発症、老人性認知症、骨質減少	98	2									4,600	4,600	5,259	4,840		
271E	女	アルツハイマー病認知症、胆管炎、慢性腎不全	89	3									4,659	4,600	5,051	4,620		
281E	男	アルツハイマー病、慢性腎不全	84	3									4,518	4,600	5,812	4,912		
291E	男	アルツハイマー病認知症、分節性脊髄神経炎	77	1									4,776	4,776	4,811	4,741		
301E	男	脳神経性痴呆、高血圧症、慢性腎不全	85	1									5,300	5,280	4,600	5,267		
311E	女	アルツハイマー病認知症、高血圧症	89	3									6,271	4,800	4,871	5,233		
321E	男	アルツハイマー病、慢性腎不全併発症、メニエール病	84	4									4,600	1,973	4,971	5,742		※認知症対応型生活介護
331E	女	アルツハイマー病認知症、統合失調症、脳神経	89	1									5,480	4,871	5,250	5,070		
341E	女	慢性腎不全	84	3									4,600	4,600	4,600	4,600		
351E	男	慢性腎不全	102	3									5,289	7,281	5,810	6,315		
361E	女	アルツハイマー病認知症	84	2									4,600	4,600	4,600	4,600		
371E	女	老人性認知症、糖尿病	85	2									8,633	4,921	4,600	5,451		
381E	男	慢性腎不全	89	3									4,779	4,742	5,071	4,923		
391E	女	アルツハイマー病認知症	74	3									4,600	5,381	4,600	4,927		
401E	女	脳血管性痴呆	87	2									4,600	4,600	4,600	4,600		
411E	女	アルツハイマー病認知症	80	2									4,671	4,671	4,600	4,847		
421E	女	骨粗鬆症、高血圧症、糖尿病	84	3									4,668	4,871	4,12	3,786		
431E	女	脳血管性痴呆	80	4									5,289	5,295	5,224	4,959		
441E	女	アルツハイマー病	86	4									5,280	4,671	4,600	4,850		
451E	女	認知症、認知症、認知症、認知症、認知症	82	2									4,671	4,671	4,600	4,847		
461E	女	アルツハイマー病認知症	81	4									4,971	4,600	4,811	4,731		
471E	女	老人性認知症	85	3									5,400	4,771	4,600	4,854		
481E	女	クモ膜下出血後遺症、脳血管性痴呆	81	1									5,794	4,600	4,600	4,992		
491E	男	骨粗鬆症、多発性脳神経	90	3									5,450	4,800	5,748	5,338		
501E	男	脳神経性痴呆、脳血管性痴呆	92	3									4,671	5,469	4,600	4,912		※認知症対応型生活介護
511E	女	脳神経性痴呆、先天性骨質減少症、慢性腎不全	97	3									4,700	5,269	4,600	4,838		
521E	男	アルツハイマー病認知症、高血圧症	88	5									5,071	5,280	4,800	4,917		
531E	女	認知症、認知症、認知症、認知症、認知症	87	4									4,913	5,211	4,742	4,959		
541E	男	認知症	89	2									4,600	5,295	4,600	4,803		
551E	女	老人性認知症	92	4									5,239	5,259	5,259	5,282		
561E	女	認知症、骨粗鬆症、膝関節炎、先天性骨質減少症	93	3									4,871	4,871	4,600	4,728		※認知症対応型生活介護
571E	女	糖尿病、アルツハイマー病認知症、骨粗鬆症	85	4									6,953	7,078	7,182	7,058		
581E	女	アルツハイマー病認知症	80	3									1,929	4,742	4,759	3,697		※認知症対応型生活介護
591E	男	アルツハイマー病認知症、骨粗鬆症、高血圧症	84	4									1,929	4,884	4,540	3,957		
													291,356	294,839	295,178	293,591	総点数	
													4,942	4,997	4,950	4,920	平均点数	

2) 患者特性、介護保険サービス及び介護費の状況

図7に要介護5の人工呼吸器装着患者、図8に要介護5の人工呼吸器装着患者以外、図9に要介護4、図10に要介護3、図11に要介護1・2の患者特性、介護保険サービス内容、介護費を示す。

2008年6月の1人当たり平均介護費は、「要介護5の人工呼吸器装着患者 (n=17)」304,464円 (最大369,409円)、「要介護5の人工呼吸器装着患者以外 (n=34)」253,545円 (最大384,380円)、「要介護4 (n=15)」197,105円 (最大311,318円)、「要介護3 (n=9)」161,057円 (最大271,521円)、「要介護2 (n=6)」119,105円 (最大180,939円)、「要介護1 (n=4)」64,185円 (最大136,717円)であった。

図 7. 患者特性、介護サービス内容、介護費用の状況(人工呼吸器装着患者・要介護 5)

介護費用総額一覧
要件:人工呼吸器装着者、要介護5

No.	性別	介護度	費用総額(円)			通所介護	訪問リハ	訪問介護	訪問入浴	福祉用具貸与				
			4月	5月	6月					特殊寝台	特殊寝台付風呂	床ずれ防止用具	体位変換器	スロープ
1	女	5	327,796	364,667	364,332			★	●	■	■	■		
2	男	5	282,223	282,223	289,401			★	●			■		
3	男	5	280,500	285,700	251,750			★	●					
4	男	5	345,218	343,365	340,698			★	●			■		
5	男	5	364,406	314,667	364,406			★	●	■				
6	男	5	286,990	261,550	278,070			★	●	■				
7	男	5	218,990	344,140	267,295		▲	★	●	■	■	■	■	
8	男	5	343,329	339,927	336,104			★	●			■		
9	男	5	350,352	345,302	338,624			★	●	■	■		■	
10	女	5	355,637	314,667	364,406			★	●	■	■		■	
11	男	5	347,992	288,632	324,707	◇		★		■	■			
12	男	5	337,029	348,207	334,627			★	●	■	■	■		
13	男	5	346,612	347,671	348,516			★	●	■	■	■		
14	男	5	174,442	197,053	186,883			★	●	■	■	■		
15	男	5	361,621	369,409	369,409			★	●	■	■	■		
16	男	5	159,500	137,000	138,250				●	■	■	■		
17	男	5	293,654	302,714	278,414			★	●	■	■			
合計			5,176,291	5,186,894	5,175,892									
平均			304,488	305,111	304,464									

※2008年4月～6月実績

図 8. 患者特性、介護サービス内容、介護費用の状況(人工呼吸器装着患者以外・要介護 5)

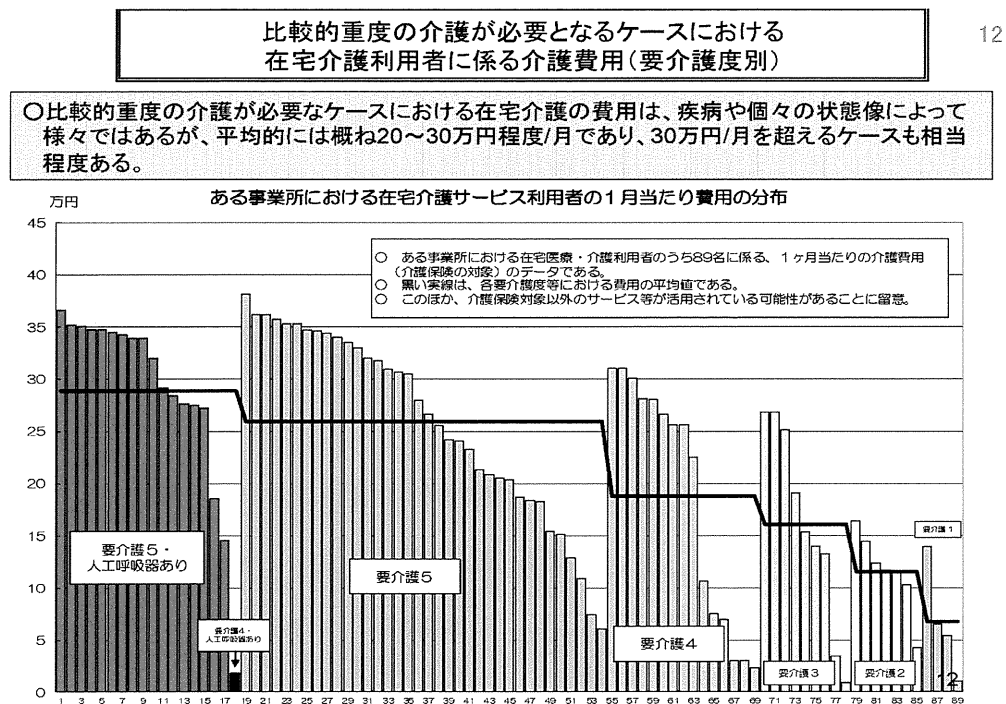
介護費用総額一覧
要件:要介護5

No.	性別	費用総額(円)			短期介護	通所介護	訪問看護	訪問リハ	訪問介護	訪問入浴	特殊寝台	特殊寝台付風呂	床ずれ防止用具	体位変換器	車椅子貸与	車椅子付風呂	スロープ	移動用リフト	歩行補助つえ	歩行器	手すり	
		4月	5月	6月																		
1	男	185,724	227,503	196,922				★	●	■	■	■	■	■								
2	女	345,270	358,090	329,790	■		◎	★	●	■	■	■	■	■	■							■
3	男	351,808	351,778	335,143				★	●	■	■	■	■	■	■							
4	女	147,613	156,291	150,133				★	●	■	■	■	■	■	■							
5	女	356,374	322,423	311,358				★	●	■	■	■	■	■	■							
6	女	178,780	189,660	178,680				★	●	■	■	■	■	■	■							
7	男	348,484	350,856	342,396			▲	★	●	■	■	■	■	■	■							■
8	女	91,400	65,950	65,950				★	●	■	■	■	■	■	■							
9	女	355,119	358,489	346,935				★	●	■	■	■	■	■	■							
10	女	364,317	363,161	358,049				★	●	■	■	■	■	■	■							
11	女	133,043	133,135	120,786	◇			★	●	■	■	■	■	■	■							
12	男	324,366	306,722	207,781				★	●	■	■	■	■	■	■							
13	女	48,330	73,219	60,779				★	●	■	■	■	■	■	■							
14	男	343,166	344,316	334,807				★	●	■	■	■	■	■	■							
15	女	193,353	165,622	103,486				★	●	■	■	■	■	■	■							
16	女	266,151	266,151	266,151				★	●	■	■	■	■	■	■							
17	男	363,210	360,654	347,929				★	●	■	■	■	■	■	■							
18	女	194,270	188,574	244,433				★	●	■	■	■	■	■	■							
19	男	295,341	291,181	328,656				★	●	■	■	■	■	■	■							
20	女	368,873	390,742	384,390				★	●	■	■	■	■	■	■							
21	男	310,834	337,443	306,793				★	●	■	■	■	■	■	■							
22	女	256,455	179,335	290,810				★	●	■	■	■	■	■	■							
23	男	363,749	359,705	363,686				★	●	■	■	■	■	■	■							
24	女	197,109	169,129	196,406				★	●	■	■	■	■	■	■							
25	男	321,509	292,317	326,293				★	●	■	■	■	■	■	■							
26	男	114,805	110,380	102,080				★	●	■	■	■	■	■	■							
27	男	202,090	223,140	298,233				★	●	■	■	■	■	■	■							
28	女	311,190	311,190	145,222				★	●	■	■	■	■	■	■							
29	男	183,903	247,925	184,103				★	●	■	■	■	■	■	■							
30	女	298,924	301,520	320,164				★	●	■	■	■	■	■	■							■
31	男	323,104	316,320	320,363				★	●	■	■	■	■	■	■							
32	女	346,571	359,867	353,714				★	●	■	■	■	■	■	■							
33	女	178,540	189,074	185,248				★	●	■	■	■	■	■	■							
34	女	213,238	213,465	212,861				★	●	■	■	■	■	■	■							
合計		8,877,113	8,865,327	8,620,520																		
平均		261,092	260,745	253,545																		

※2008年4月～6月実績

図 13 は図 7～11 を参考に構成されたデータである。

図 13. 比較的重度の介護が必要なケースにおける在宅介護利用者に係る介護費用
(要介護度別)



【考察】

以上の結果から、医療保険分について在宅医療と病院入院との比較を行えば、図 17 のように医療費は、がん末期については最も高い在宅がん医療総合診療料を適応しても、在宅はホスピスの約 1/2 である。人工呼吸器装着者は病院入院の約 1/3 である。常時臥床状態は病院入院の約 1/5 である。

図 14. がん末期／人工呼吸器装着患者／寝たきり者に対する入院医療費と在宅医療費の比較

がん末期 ホスピス:100万円／月
(病院の1/2) 在宅医療:在医総・45万円＋麻薬

人工呼吸器 病院: 80万円～100万円／月
(病院の1/3) 在宅医療:25万＋訪問看護(医療)

寝たきり 病院: 40万円／月
(病院の1/5) 在宅医療:6万円～10万円／月

『医療保険分のみ』

介護費用を医療費に加算した場合には、図 15 のように人工呼吸器装着者は病院入院より安く、約 3/5 である。要介護 5・4・3・2・1 のいずれもが病院入院よりも安い。

心身障害者総合支援法による介護支援の費用や、各自治体独自の支援、生活保護における介護支援、食費や生活用品等を加算していない。総合支援法による介護支援は原則的には要介護 5 かつ費用の 1/2 以上を訪問介護に利用している場合等である。

要介護 4 以下の利用者は限られている。

要介護 5 であっても満額を利用している療養者は少なく、介護保険利用の全国の平均値はおおよそ 23 万～25 万円/月と考えられている。

人工呼吸器装着者は、39 歳以下については総合支援法の適用となる。40 歳以上については介護保険が優先された後に総合支援法による介護支援となる。

ALS について 1996 年から 2004 年までの計 31 名に対するサービス利用時間の調査（図 16）において、約 1/3 が 20 時間未満/週であることから介護保険の枠内に留まっていると思われる。一方で、約 2/3 は介護保険に加えて他の制度も活用していることが推測される。医療依存度及び介護依存度のいずれも高い当該疾患においては、更なる介護時間の増加を望んでおり、外円（理想のサービス利用時間）に届いていないことが分かる。

図 15. 在宅医療・介護費用(要介護度別)

在宅医療【医療費＋介護費】(要介護度1・2・3・4・5・最重度)

			人工呼吸器 装着者			
医療費平均	介護費平均	計	医療費平均	介護費平均	計	
246,180円	289,104円	535,284 円	103,220円	188,343円	291,563 円	
n=27、最大値 =397,680 最小値 =164,350	n=18、最大値= 366,813 最小値= 18,293		N=24、最大値 =476,920 最小値 =60,870	N=15、最大値 =310,946 最小値 =23,548		
106,380円	259,877円	366,257 円	78,800円	155,265円	234,065 円	
n=70、最大値 =287,770 最小値 =35,490	n=36、最大値= 381,332 最小値= 60,776		N=22、最大値 =198,320 最小値 =24,510	N=10、最大値= 268,718 最小値= 9,345		
90,380円	97,680円	188,060 円	90,380円	97,680円	188,060 円	
N=20、最大値 =431,520 最小値 =49,410	N=10、最大値 =164,257 最小値 =11,088		N=20、最大値 =431,520 最小値 =49,410	N=10、最大値 =164,257 最小値 =11,088		

※算出データは、仙台往診クリニックで管理する在宅生活者の2008年4月～6月(3ヶ月間)の医療保険点数、介護利用状況から、平均値を算出したものである。
※費用の詳細は、別表を参照のこと

サービス利用の現状と理想 過当たりのサービス利用時間 (ALS のみ)
 (内円：現状 外円：理想, n = 31)

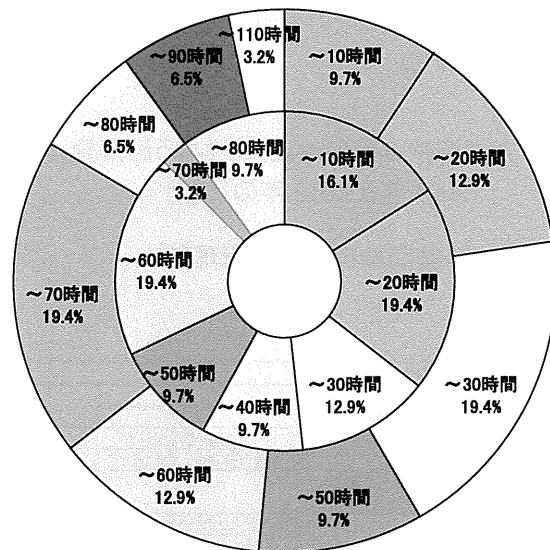


図 16

医療費全体に占める在宅医療費は少ない。図 17 に示すように、平成 20 年度総医療費のわずか 2.5%である。さらにインスリン等の在宅自己注射、在宅酸素療法に係る医療費分は、大部分が外来通院による算定であり、実際に訪問診療において算定されている割合は少ないと思われる。

在宅時医学管理料・在宅がん医療総合診療料・訪問・往診等の実際に訪問して算定されている医療費は、医科全体のわずか 0.6%である。

図 17. 総医療費に占める在宅医療費の割合とその内訳

**在宅医療費は少ない→少ない医療費で高い効率
 24時間訪問し、最期まで生活支援が可能**

